

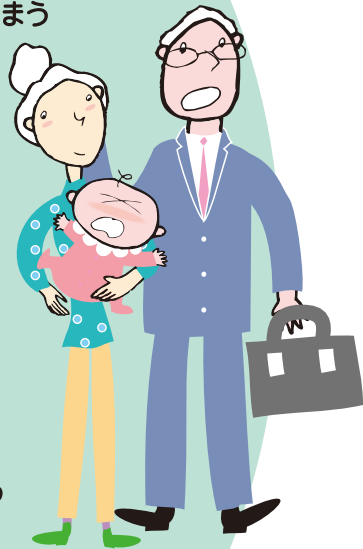


### 子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
 不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる  
 「かわいそうな子だ」と言って育つと、子どもは、みじめな気持ちになる  
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思うってしまう  
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
 広い心で接すれば、キレる子にはならない  
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
 やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
 和気あいあいとした家庭で育てば、  
 子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

「子どもが育つ魔法の言葉」

(ドロシー・ロー・ノルト レイチャル・ハリス著 石井千春訳 PHP 研究所刊)より

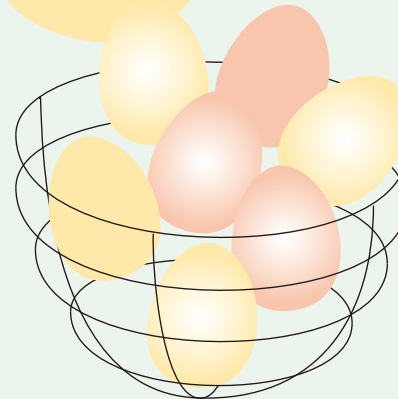


# 「接する」

ワークショップ  
卵を使ったワーク

一つずつ卵をもらう

1  
卵が一つずつ  
わたされる。



2  
卵を  
温めていく。



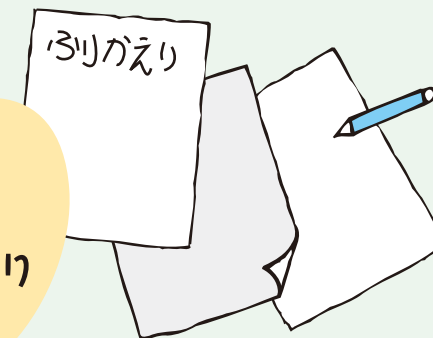
3  
卵を  
あずけあう。



4  
感じたことを  
話し合う。



5  
ふりかえり

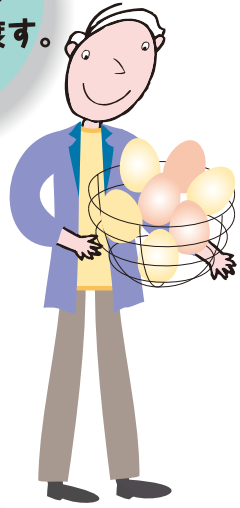


## ワークショップの進め方(例)

卵を使ったワーク

1

参加者全員に卵を一つずついねいに手渡す。



2

ファシリテーターの話

「この卵を生れたばかりの赤ちゃんだと想像してみてください。どうですか？ 持ちごちは？ そう、しっかりとつみ込んでみてください。この卵をそのあたりに放っておくとどうなる？ そう、くさってしまうよね。猫や犬がおもちゃとまちがえて遊ぶかもしれないね。そうするとどうなる？ そう、卵は割れちゃうね。」

生れたばかりの赤ちゃんも同じで、誰かが大切にまもっていかないと育たないんだよ。みんなもそうだよ。だれかに大切に時間をかけて育ててもらったんだよ。卵もだれかにあたためてもらってはじめて可愛いひよこになるんだよね。気をつけてくださいよ。机の上に落としたり割れてしまいますからね…。」



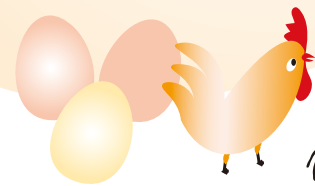
3

ファシリテーターの話

「さあ、それではワークショップを始めます。隣の人とペアになってください。さて、左側の人とはこれから仕事で遠くに出かけなければなりません。残念ですが卵は連れて行くことはできません。さあ、どうする？」

そう、誰かに預かってもらうしかないね。それじゃ、お隣の人にあずかってもらうことにしましょうか。どうやって預けたらいいでしょうか？」

そう、そーっと隣のひとにわたしてください。うまくわたせたら、左側の人は一つ前の席へ移動してください。一番前の人が一番後ろの席へ…。」



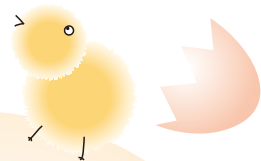
4

ファシリテーターの話

「ここで、皆さんに感想を聞いてみましょう。卵を温めているときはどう感じましたか？…」

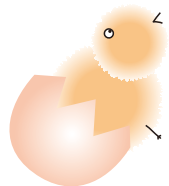
- 卵を温めていたときに感じたこと
- 卵をあずけてなくなってしまったときに感じたこと
- 卵をあずかったときに感じたこと

卵を生まれたばかりの赤ちゃんだと思って接したときの気持ち、赤ちゃんに接するときには大切なことは何か。



5

ふりかえり



## 交流・体験

「子育て前期」参加者との交流

「子育て前期」参加者の親子との交流をとあして、乳幼児と接してみましょう。



●子どもを預かり、抱く、あやす、遊ぶ。

●子育ての体験談を聴き、話しあきましょう。(どんなことが楽しく、どんなことが大変かなど)

## グループワーク

1 グループに分かれて話しあってみましょう。

- ① 子どもに接するときには大切なことは何でしょうか？
- ② 子どもに接するときと親や友人に対するときには、共通する大切なものは何でしょうか？

2 次の詩を読んでどう感じますか？ 共感できるところや、できないところはどこですか？ あなたが親になったとしたら、こたえきれないと感じるのはどんなところでしょうか？